

5-②

もくじ

われは草なり	1
浦島太郎「御伽草子」より	3
解答例	6

われは草なり (1)

名前



102 ページ	102 ページ	われは草なり	から
上段 8 行目	上段 1 行目	伸びるなり	を読んで答えましょう。

(1) われは(102 上段1行目)何だといっていますか。 にあてはまる言葉を文中からぬき出しましょう。

われは

草

(2) 伸びんとす(102 上段2行目)、伸びられる(102 上段3行目)、伸びぬ(102 上段6行目)とは、それぞれどんな意味ですか。下から選び、線で結びましょう。

- | | | |
|---------|---|-----------|
| ① 伸びんとす | • | 伸びない |
| ② 伸びられる | • | 伸びることができる |
| ③ 伸びぬ | • | 伸びようとする |

われは草なり (2)

名前



102 ページ 上段10行目
102 ページ 下段9行目

われは草なり から
生きんとす

を読んで答えましょう。

(1) 二連目(102 上段10行目〜中段6行目)で三回くり返されている言葉は、何ですか。文中からぬき出して、 に書きましょう。

みどり

緑

(2) 願ふなり(102 中段11行目)とありますが、何を願っているのですか。文中からぬき出して、 に書きましょう。

みどり

緑

を 願ふなり

(3) この詩には、「伸びんとす」や「緑なり」といったくり返しの表現が使われています。この表現には、どんな効果がありますか。正しい方に○をつけましょう。

- () 言葉の意味を分かりやすくする効果
- () 言葉の意図を強調する効果





144、145ページ
「浦島太郎」

太郎思ふやう、亀が与へしかたみの箱、から箱の中にたたみ入れにけり。を読んで答えましょう。

(1) 次の①～③の言葉は、どんな意味にあたりますか。正しい方に○をつけましょう。

① あひかまへてあけさせ給ふな (P144 上段1行目)

() () どうか開けてください

() () 決して開けなさるな

② あけて見ばやと思ひ (P144 上段3行目)

() () 開けて見ようと思ひ

() () 開けたくないと思ひ

③ 見るこそくやしかりけれ (P144 上段3行目)

() () 見てしまったのは残念なことだった

() () 見てしまったのはうれしいことだった

(2) 亀 (P144 上段1行目) は、太郎に何をあげたのですか。 にあてはまる言葉を文中からぬき出しましょう。

か

の箱

浦島太郎

(2)

名前



144、145ページ
「浦島太郎」

太郎思ふやう、亀が与へしかたみの箱、から箱の中にたたみ入れにけり。を読んで答えましょう。

(1) この箱を開けて見たところ(144 下段12行目)、中から何が立ち上りましたか。正しい方に○をつけましょう。

() 紫色の雲

() 鶴

(2) この箱を開けて見たところ(144 下段12行目)、太郎はどうになりましたか。
□ □ □ □ □
にあてはまる言葉を文中からぬき出しましょう。

お

に変わり果てた。

(3) 次の①、②の言葉は、どんな意味にあたりますか。正しい方に○をつけましょう。

① 虚空に飛び上がりける(145 上段2行目)

() 大空へ飛び上がっていった

() 大空へ飛び上がらなかった

② 亀がはからひととして(145 上段3行目)

() 亀の心づかいで

() 亀が心配して

浦島太郎

(3)

名前

教科書

144、145ページ
「浦島太郎」

太郎思ふやう、亀が与へしかたみの箱、から箱の中にたたみ入れにけり。を読んで答えましょう。

(1) 太郎が箱を開けると、おじいさんに変わり果ててしまった(145 下段1行目)のは、なぜですか。() にあてはまる言葉を から選び、書きましょう。

浦島の

() を、亀の

() で、

() の中にたたんで入れてあったから。

箱

心づかい

年の数

(2) 次の文がお話の順番になるように、() に1〜4の番号を書きましよう。

() 太郎が箱を開ける。

() 太郎がおじいさんに変わる。

(1) 亀が浦島の年の数を箱の中にたたんで入れる。

(4) 太郎が鶴になって、大空へ飛び上がる。

喜楽研の支援教育シリーズ
 ゆっくりていねいに学べる
**国語教科書
 支援ワーク**

光村図書教科書の教材より抜粋

5-②

もくじ

われは草なり

浦島太郎「御伽草子」より

解答例

6

3

1

われは草なり (1)

名前



102 ページ

上段 8 行目

伸びるなり

を読んで答えましょう。

102 ページ

上段 1 行目

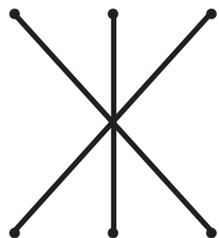
われは草なり から

(1) われは(102 上段 1 行目)何だといっていますか。 にあてはまる言葉を文中からぬき出しましょう。

われは **草なり**

(2) 伸びんとす(102 上段 2 行目)、伸びられる(102 上段 3 行目)、伸びぬ(102 上段 6 行目)とは、それぞれどんな意味ですか。下から選び、線で結びましょう。

- ① 伸びんとす 伸びない
- ② 伸びられる 伸びることができる
- ③ 伸びぬ 伸びようとする



われは草なり (2)

名 前



102 ページ	上段 10 行目	われは草なり	から
102 ページ	下段 9 行目	生きんとす	を読んで答えましょう。

(1) 二連目(102 上段10行目〜中段6行目)で三回くり返されている言葉は、何ですか。文中からぬき出して、 に書きましょう。

緑なり

(2) 願ふなり(102 中段11行目)とありますが、何を願っているのですか。文中からぬき出して、 に書きましょう。

緑の深きを 願ふなり

(3) この詩には、「伸びんとす」や「緑なり」といったくり返しの表現が使われています。この表現には、どんな効果がありますか。正しい方に○をつけましょう。

- () 言葉の意味を分かりやすくする効果
- (○) 言葉を強調する効果



浦島太郎 (I)

名前



144、145 ページ
「浦島太郎」

太郎思ふやう、亀が与へしかたみの箱、から箱の中にたたみ入れにけり。を読んで答えましょう。

(1) 次の①②③の言葉は、どんな意味にあたりますか。正しい方に○をつけましょう。

① あひかまへてあけさせ給ふな (P144 上段1行目)

() どうか開けてください

(○) 決して開けなざるな

② あけて見ばやと思ひ (P144 上段3行目)

(○) 開けて見ようと思ひ

() 開けたくないと思ひ

③ 見るこそくやしかりけれ (P144 上段3行目)

(○) 見てしまったのは残念なことだった

() 見てしまったのはうれしいことだった

(2) 亀 (P144 上段1行目) は、太郎に何をあげたのですか。 にあてはまる言葉を文中からぬき出しましょう。

かたみの箱

浦島太郎 (2)

名前



144、145 ページ 浦島太郎
 太郎思ふやう、亀が与へしかたみの箱、から箱の中にたたみ入れにけり。を読んで答えましょう。

(1) この箱を開けて見たところ(144 下段12行目)、中から何が立ち上りましたか。正しい方に○をつけましょう。

(○) 紫色の雲

() 鶴

(2) この箱を開けて見たところ(144 下段12行目)、太郎はどうなりましたか。
 にあてはまる言葉を文中からぬき出しましょう。

おじいさん に変わり果てた。

(3) 次の①、②の言葉は、どんな意味にあたりますか。正しい方に○をつけましょう。

① 虚空に飛び上がりける(145 上段2行目)

(○) 大空へ飛び上がっていった

() 大空へ飛び上がらなかった

② 亀がはからひととして(145 上段3行目)

(○) 亀の心づかいで

() 亀が心配して

浦島太郎 (3)

名前



144、145 ページ
「浦島太郎」

太郎思ふやう、亀が与へしかたみの箱、から箱の中にたたみ入れにけり。を読んで答えましょう。

(1) 太郎が箱を開けると、おじいさんになり果ててしまった(145 下段1行目)のは、なぜですか。() にあてはまる言葉を [] から選び、書きましょう。

浦島の () 年の数 () を、亀の () 心づかい () で、箱 () の中にたたんで入れてあったから。

箱

心づかい

年の数

(2) 次の文がお話の順番になるように、() に1〜4の番号を書きましよう。

(2) 太郎が箱を開ける。

(3) 太郎がおじいさんになる。

(1) 亀が浦島の年の数を箱の中にたたんで入れる。

(4) 太郎が鶴になって、大空へ飛び上がる。